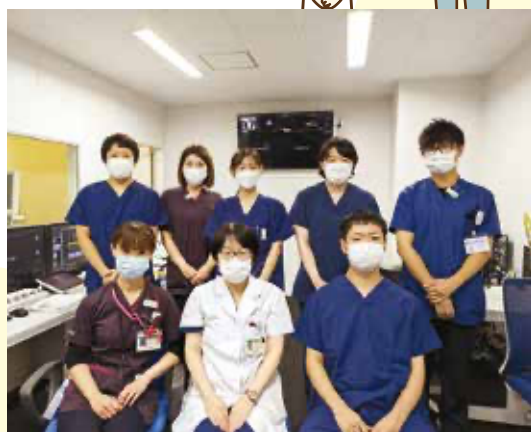


血管造影室のご案内



心臓カテーテル検査室に新しく導入された心臓血管造影装置（フィリップス製Azurion 7 B12/12）について紹介いたします。この装置は最新のバイプレーン技術を採用しており、患者さんの負担を軽減しつつ、より正確な診断と治療を可能にします。血管造影では、造影剤という薬剤で血管を満たし撮影します。造影剤によって血管が明確に描出され、さまざまな角度で撮影することで、血管の太さや、血管が途切れていないかを診断します。バイプレーン技術は、2つのカメラを搭載した装置のことです。これにより一度の造影剤注入で心臓を2方向から同時に撮影できます。そのため、検査時間を短縮し、造影剤の使用量を減らすことができます。また、この装置は最新の技術によって、少ない放射線量で高品質な画像を撮影することができ、被ばくを最小限に抑えつつ治療の精度を向上させることができます。

当院では、この新しいバイプレーン心臓血管造影装置を活用し、皆様の健康を守るための最善の医療を提供してまいります。安心して検査や治療を受けていただけるよう、スタッフ一同全力でサポートいたします。ご不明な点やご質問がございましたら、どうぞお気軽にお尋ねください。



当院では、安全・安心で患者さんに満足していただける医療を提供するために患者の権利・責務を定めています。以下に提示いたします。

子どもの患者の権利については
こちらからご覧ください



患者の権利と責務については
こちらからご覧ください





"食べることは生きること"

食べ物認識して食物が食道に送り込まれるまでの一連の動作を「摂食嚥下」といいます。食べることは私たちの一生にかかわります。口から食べることは、栄養を補給するという目的以上の意味があります。「今日は何を食べようかな」「特別な日だから、あのお店に大切な人と行きたいな」など、日々食べることに幸せを感じる方も多いでしょう。このように食事には栄養補給に留まらず、「全身機能の活性化」「欲求を満たす」などの目的もあります。「食べること」には人間が人間らしく生きるための大切な尊厳のひとつなのです。

私たち言語聴覚士は思うように食べることができなくなった方々、いわゆる摂食嚥下障害のある方へ向けてリハビリテーションを行っています。食事中にむせることが多くなった、食事の後に痰が絡んだような声（ガラガラ声）になる、などという症状が現れたら嚥下障害の可能性もあります。できるだけ長く好きなものを口から食べるために嚥下の機能を維持することはとても大切です。

自宅でできる嚥下体操

① 深呼吸

鼻から吸って
口から吐く
ゆっくり5回



② 肩の運動

肩を上下に動かします
ゆっくり5回



③ 首の体操

右にたおす10秒間

左にたおす10秒間

首をまわす 左右10周ずつ



④ くちの運動1

くちを大きく開ける・
しっかり閉じる
10回ずつ



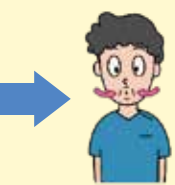
⑤ くちの運動2

「い～」と横に引く・
「う～」と尖らせる
10回ずつ



⑥ 頬の運動

頬を膨らます
頬をすぼめる
10回ずつ



⑦ 舌の運動

舌を大きく動かす
10回ずつ



前

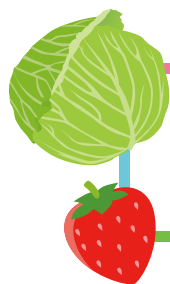
左右

上

⑧ 構音練習

10回ずつ





生活習慣病(NCDs)の予防のほか、生活機能の維持・向上の観点から
栄養・食生活を振り返ってみませんか。

食事のポイント

1日3食、主食・主菜・副菜をそろえてバランスよく食べましょう。

主食・主菜・副菜を組み合わせた食事は日本の食事パターンであり、良好な栄養素摂取量、栄養状態につながる事が報告されています。

主食・主菜・副菜をそろえて
バランスのよい食事を

副菜：野菜

主菜：魚・肉・卵・大豆

主食：ごはん・パン・麺



SMART LIFE PROJECT

野菜料理プラス1皿してみませんか？果物は食べていますか？

野菜をプラス1皿
健康生活へ
はじめの一步

1皿=70g

SMART LIFE PROJECT

毎日の
くらしに果物を

果物で
健康生活

大人が1日に必要な
果物の摂取量は、200g。
手軽に果物を
日々のくらしに
取り入れましょう。

SMART LIFE PROJECT 厚生労働省

今より少しだけ節塩で、適塩生活を目指しましょう。

まずは **-2**

おいしく減塩
まずは
1日マイナス2g

減塩で健康生活

目標は現在の摂取量から
まずは-2g。だし・柑橘類・
香辛料等を使って、
おいしく減塩。
栄養表示を見て、
かしこく減塩。

SMART LIFE PROJECT 厚生労働省

福岡県では、スマートにソルト(塩)を使う
減塩プロジェクト「TRY!スマソる?」を
展開中です。



<https://www.kenko.pref.fukuoka.lg.jp/try-smasol/>

お子さんが

アトピー性皮膚炎の かゆみ



～^{ちけん}治験に参加していただける方を募集しています～

参加期間：約79週間（1年7か月）

その間に約22回来院していただきます

＜この治験にご参加いただける方＞

- ・アトピー性皮膚炎と診断された方
- ・生後6か月～9歳の方
- ・外用治療をしてもかゆみが残っている方
- ・治験中も外用治療にご協力いただける方
- ・専用のタブレット端末でのアンケートにご協力いただける方
- ・4週間に1回程度北九州市立八幡病院への受診・注射が可能な方 等



募集期間：2025年5月まで

病状、現在の治療などの条件により参加いただけない場合もあります。
エントリー期間前に募集が終了する場合もあります。

この治験で使用する
治験薬（お薬の候補）は、
アトピー性皮膚炎の^{かゆみ}に対する
注射薬として、6歳以上の方への
使用が承認されています。
この治験では、生後6か月～9歳への
効果・安全性を確認します。



お問い合わせ先

北九州市立八幡病院

診療科：小児科

治験担当医師：沖 剛

TEL： 093-662-6565（代表）平日08:30-17:00



第2版 作成日：2024年8月26日

編集
後記

2月は節分がありますが、スーパーに行くと色々な種類の恵方巻が並んでいるので
毎年食べ過ぎてしまいます。今年は西南西だそうです。
2025年も皆様健康で良い年になりますように。



臨床検査技術課 落原